＊＊2017 年 6 月（第 3 版）（新記載要領に基づく改訂）　　認証番号：219AKBZX00100000
＊2008 年 3 月 24 日（第 2 版）

歯科材料 5　歯科用接着充填材料
管理医療機器　歯科用歯周保護材料　JMDN ｺｰﾄﾞ：35573000

コーパック　レギュラー

【禁忌・禁止】

本品の使用により感作又はアレルギー反応が起きる可能性があるので、本品又は本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者に使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1．性状及び成分

構成品	性　状	成　分
キャタリスト	薄いピンクのペースト状	酸化亜鉛、植物油、鉱油、酸化マグネシウム　他
ベース材	薄い褐色の半透明ゼリー状	ロジン、ラウリン酸、天然ゴム、ラノリン、エチルセルロース、他

2．原理

キャタリスト(促進材)とベース材を練和することによりキレート反応が始まり、硬化する。

【使用目的又は効果】

歯周組織の被覆・保護に用いる。

【使用方法等】

1．使用方法

①練和紙上にキャタリスト（促進材）とベース材を等長分チューブから出し、スパチュラを用いて均一の色調になるまで練和する（30～45 秒間）。
②練和物を円筒形に形成する。
③練和後 2～3 分で粘着性が低下し、成形可能な状態になる。手指にワセリン、ラノリン、コールドクリーム又は水を薄く塗り、練和物の粘着性を確認する。
④粘着性が低下した後（表面のべたつきが消失した状態）、ロープ状又は適用部位に合わせて適当な形状に成形する。
⑤本品を手術部の切開創、周囲の歯肉及び歯の辺縁部に圧接し、手術部位を十分に保護できるような形に整える。本品の作業可能時間は、練和開始約 2 分後から 10～15 分までである。

2．使用方法に関連する使用上の注意

①練和作業は非常に重要である。幅の広い、たわみやすい、しなやかなスパチュラを使用して行うこと。
②練和物を硬めにしたい場合は、練和前にキャタリスト（促進材）に酸化亜鉛の粉末を少量加えてもよい。
③患部はできるだけ乾燥させ、歯間乳頭部に圧接・接着する。患部が大きい場合、先に本品の小片を歯間乳頭部に何ヵ所か圧接した後、練和紙上で薄く伸ばした本品を患部にあてながら圧接するとよい。
④作業可能時間(練和開始約 2 分後から 10～15 分まで)中は本品の密着性は高く、口腔内組織及び歯に容易に適用できるが、これ以上の時間が経過すると硬化が始まり、再形成できない状態になるので注意すること。(練和後約 20 分を経過すると、再成形できない程度に硬化する)

【使用上の注意】＊＊

1．使用注意

①開封後はできるだけ速やかに使用すること。
②他の製品と混用しないこと。

2．重要な基本的注意

①本品の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けさせること。
②本品又は本品に含まれる成分に対してアレルギー既往歴のある患者には使用しないこと。
③本品又は本品に含まれる成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、手袋などをして直接本品に触れないようにすること。また、本品の使用により過敏症状を起こした場合には直ちに使用を中止し、専門医の診察を受けること。
④本品又は練和物が適用部位以外の粘膜組織に付着しないように注意すること。万一付着した場合には、直ちにアルコール綿等で拭いた後、多量の流水で洗浄すること。
⑤本品又は練和物は、目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
⑥保管温度が低すぎるとチューブから取り出し難くなることがあるので、最適温度付近まで戻してから使用すること。＊

【保管方法及び有効期間等】

（保管方法）

①本品は、室温（最適温度は 21～25℃）で乾燥した暗所に保管すること。＊
②本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

（有効期間）

本品の使用有効期間は製造日から 2 年。
容器に記載されている使用期限までに使用すること。
（使用期限は自己認証[当社データ]による。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社ヨシダ
住　　所：〒110-8507
東京都台東区上野 7-6-9
お問い合わせ先
器材部
電 話 番 号：03-3845-2931
ＦＡＸ番号：03-3841-8204
製　造　元：ジーシーアメリカ社
GC America Inc.（国名：アメリカ合衆国）